

船橋非常通信連絡会ニュース

お、Eア、ミ、ティ、グ 432.76MHz にて

第40号

常用周波数 (MHz) 432.76

毎土曜 22:00 ~ , 毎日曜 10:00 ~ [JUNE / 2007]

145.76, 1295.78, ビ、タ 1292.72

混信なら Down QSY, 20KHz づつ 432.56MHz まで

JJ1YNA H.P <http://www.jarl.com/jj1yna/>

第31回定期総会報告

第31回定期総会は、4月15日(日)に船橋市消防局5階講堂において開催されました。

J J 1 D P D 湯浅副会長の開催の言葉に続き、船橋市長公室 松戸室長の挨拶と事務局防災課 石井課長より防災課メンバーの高木課長補佐、ならびに事務局員 三橋氏、吉田氏、工藤氏のご紹介がありました。引き続き J A 6 A Z E 説田会長の挨拶の後、議事に入りました。

会長挨拶の趣旨

各局におかれましては、益々アマチュア業務にお励みの事と存じます。

船橋市アマチュア無線非常通信連絡会は、31年間の歴史の中で昨年も大災害の発生が無く、実活動の機会がないことは喜ばしい限りです。

しかしながら、最近では能登半島など想定していなかった地域での地震の発生も有ります。関東・東海など大災害の周期説によると、何時発生してもおかしくない時期になっています。

日頃から防災への心構えと連絡会の組織・活動内容を理解し、機器の整備を行い万が一の大災害が発生した場合にはボランティアとして行政に協力できる体制をとるためにも、お配りしてあるマニュアル類の再確認をお願いします。機器の整備や心構えの確認には連絡会の行事も良い機会です。ご多忙とは存じますが行事への参加もよろしくお願ひいたします。

また、防災課や Y U X とはより協力体制を強化し、万が一の事態に備えたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

非常通信連絡会定期総会 議事

1) 18年度事業報告

市総合防災訓練を8月27日に実施し、当日の参加者は Y U X 7局、Y N A は 4 4 局の参加であった。

防災フェアは、寒波の1月20日に三咲小学校において開催しました。 (J H 1 M Q C)

機関紙発行については、例年通り年4回発行しました。今年度からは、紙面を見やすいため記事の内容は、頁単位で区切る。画像をなるべく多く取り込むなどして、読みやすくしました。 (J S 1 I W A)

19年度事業計画

今年度も同様に、市総合防災訓練及び防災フェアへの参加を実施する予定です。

また、今年度の防災訓練は8月26日に決定し、昨年度のようなトラブルを防止するため、防災課と詰めを行っています。 (J H 1 M Q C)

2) JR1YUX役員人事

JK1LPA 鈴木氏より 会長 JJ1DPD 湯浅氏、副会長 JR1DIU 伊藤氏、防災担当に富永氏、本木氏が就任されたことを報告されました。



船橋市アマチュア無線クラブ定期総会 議事

18年度事業報告及び19年度事業計画と会計報告

以下、各担当役員からの報告趣旨

オンエアミーティングについて

年間の参加局の概要として年30回以上参加された局数19、年10回以上参加された局数は6、年1回以上参加された局数は25となっています。内訳は別表1.を参照してください。

また、ネットコントロールグループとして協力頂いた、JG1DVY小池さん、7L1TTH島村さん、7K2CWU植田さんありがとうございました。

次年度からは、ブレイクインタイムを設けるように、各局をお願いします。なお、効率的に行うため開始から10分か20分ぐらいでインフォメーションタイムとし、チェックインが切れたら終了とします。

(7L3UQW)

移動運用について

18年度は、5月21日 手賀沼湖畔にて 10月22日 柏市泉にて実施しました。

今年度は、5月と10月に予定しています。それと別に、8月のフィールドデーコンテストにも参加したい。

(JR1VRZ)

ネットワーク構築テストについて

18年度は、第1回目4月23日、第2回目7月9日、第3回目12月17日に実施しました。

結果のまとめは、次の通りです。

平成18年度ネットワーク構築テスト結果まとめ

回数 周波数帯	第1回				第2回				第3回				合計	
	50	144	430	1200	50	144	430	1200	50	144	430	1200		
1) 7L1FYS						4	14				5			23
2) 7L1TTH							11	4						15
3) JA1BWA			7				5	2						14
4) JA1QC		2	22	2					2		6	1		35
5) JA6AZE							2							2
6) JG1DVY			12						2		5			19
7) JG1EDX							4							4
8) JH1MQC			20			4	16							40
9) JH1TVY			8	2			4				3			17
10) JK1PIK			9			5	7	2	2	1	6			32
11) JO1GLR			22	2		2	8	2			13	2		51
12) JS1IWA						3	6	2		1	8			20

今年度は、新しい企画として、習志野台防災訓練及び防災フェアにおいて、基地局と会員、市内一般局を対象としたコンテストを行います。手始めに、6月3日の習志野台防災訓練で実施予定です。

次年度の運用方針については別表2.に説明を記載してあります。

(JK1PIK)

技術講習会について

18年度報告

9月10日に、地上デジタル放送の勉強会としてJ J 1 G R K 高木さんにご担当いただきました。

11月26日に、可変周波数発振器の製作会をJ J 1 G R K 高木さんのご指導で実施しました。

19年度計画

9月と12月に予定しています。9月は、ご要望に添ったもの、12月はやさしいもので、スリーブアンテナの製作を予定しています。皆様へのお願いですが、技術講習会で取り上げて欲しい要望、希望を募りますので、ホームページ、オンエアミーティングの場でお待ちしております。 (J L 1 G Y B)

広報活動について

ホームページを更新をしました。主な更新箇所は、会員名簿、役員名簿、会長名、及び事業報告と会の歩みについて、現在に至るまでの内容に更新してあります。また、今までは、連絡会とYNAを区別していたものを、まとめて記載することにしました。

ホームページトップピックスによる行事のお知らせをその都度アップしました。今後は、行事担当役員のお方にも協力して頂き、迅速な対応がとれるようにします。

その他として、市民活動情報ネットワークへ連絡会が登録されましたので、イベント情報の発信として利用できるように検討していきます。 (J S 1 I W A)

会計報告について

18年度の会計報告としては、収入は寄付金のみで、支出はJ A R Lの会費のみでした。

19年度の予算案も、前期と同様です。 (J H 1 T V Y)

その他連絡事項

会員数の増減として、退会者が2名ありました。そのうち1名はアクティブにご活躍されていた J G 1 E D X 田中さんがサイレントキーとなりました。謹んでご冥福をお祈りします。

(J H 1 M Q C)



表 1 . オンエアミーティング結果報告

7 L 3 U Q W N C グループ
J G 1 D V Y . 7 L 1 T T H . 7 K 2 C W U

18年度のオンエアミーティング参加状況はつぎの通りです。チェックインのみでも結構ですので、機器の点検を兼ねて月に1回は参加されたら如何でしょうか。()内はチェックインのみを含む参加回数

年間30回以上参加局 19局

JG1DXY(83) JE1FTN(73) JA1QC(72) 7L3UQW(69) JK1TUJ(60) 7L1TTH(59) JK1PIK(57) JG1EDX(53) JS1IWA(52)
JH1GEN(50) 7K2CWU(50) JA6AZE(42) JO1GLR(41) JJ1GRK(39) JL1GYB(38) JM1HVL(31) JH1APY(30) 7M1FDP(30)
7L2NWB(30)

年間10回以上参加局 6局

7N3SHX(28) JA1BWA(25) 7L4JUO(22) JF1XPH(16) JA1XQC(14) JA1OQX(10)

年間1回以上参加局 25局

7L1QAD(5) JA2LGY(3) JM1MUT(3) JP1E01(3) JA1EDJ(2) JA1PUN(2) JA1VRZ(2) JN1QKR(2) JS1SWW(2)
7L1FYS(2) 7M4NBV(2) JA1ETB(1) JA1WO1(1) JK1BHI(1) 7K2MZG(1)

表 2 . ネットワーク構築テストの運用方針

J S 1 I W A . J K 1 P I K

ネットワーク構築テストは本来の目的が、市内での電波の伝播状況の調査と、ハンディ機同士で交信の可能性を調査し災害時での実稼働に備えることであった。

当初は参加局も多くそれなりの成果も得られたが、最近にいたって参加局が減少し且つ固定化されて来た。よってこれの打開策として次の方法を提案し方針としたい。

即ちこれは市内一般局も対象に含めることにより規模の拡大を図るものである。

習志野台地区防災訓練、および防災フェアにおいてYNAとして各バンドで市内局を対象にコンテストを行い、応答会員局には規定のポイントをあたえる。

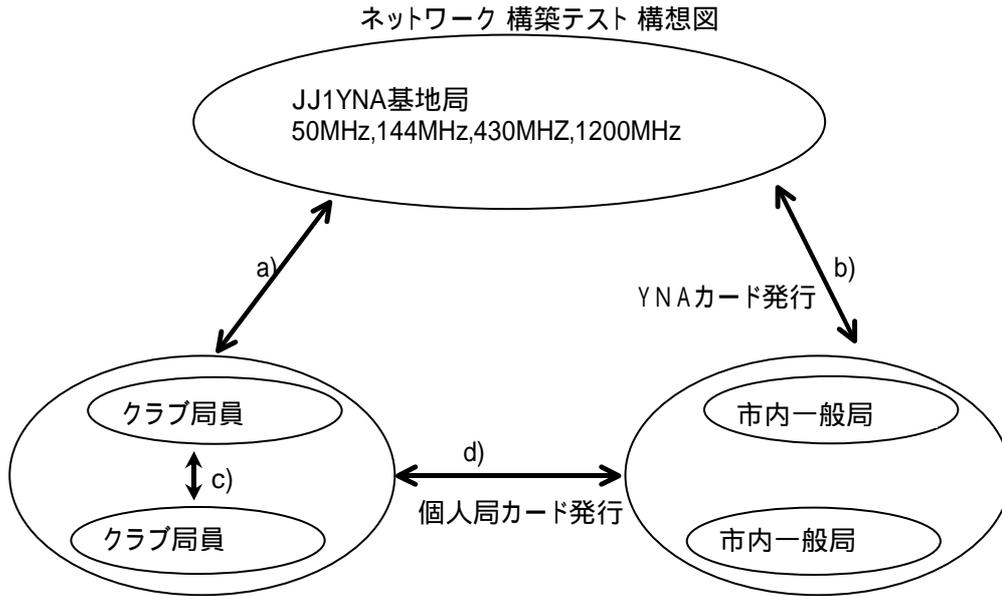
一般局にはYNAの交信証(カード)をJARL経由で発行する。

* 基地局はHF, 50, 144, 430, 1200の各バンドを参加メンバーが時間交代で運用。

* 基地局以外の会員局は従来通りのルールでログを提出すればポイントが得られる。

なお、同じバンドで複数基地メンバーとの交信もポイントとなる。

* 基地局以外の会員局が一般市内局との交信時のQSLカードの交換は自由とするが、相手局に基地局との交信でYNAのカードが得られる事をPRする。



JJ1YNA基地局を設置、交信対象はクラブ局員及び市内一般局

- 1) 基地局の担当者は a) 各周波数でのクラブ局員との交信でポイント発生及び b) 市内一般局との交信に対して、カードを発行する。
- 2) クラブ局員は a) 基地局、c) クラブ局員同士との交信でポイント発生及び d) 市内一般局との交信に対して、カードを発行する。
- 1) ポイントは、ログ提出者のみが得られる。
- 2) 基地局は市内一般局との交信に対しYNAのカードを発行、但し1局に対して1通
- 3) クラブ局員と市内一般局との交信時に自局のカード発行は自由、但し基地局との交信でYNAのカードが得られる事をPRする。

表 3 . 年間行事計画表

月 日	行事	場所	担当幹事
4月15日	定期総会	市消防局	役員全員
5月27日	移動運用	手賀沼湖畔	JA1VRZ JH1GEN
6月3日	習志野台地区防災訓練	習志野台8号公園	JK1PIK
6月3日	ネットワーク構築テスト	習志野台8号公園	JS1IWA JK1PIK
7月	役員会	飯山満公民館	役員全員
8月	フィールドデー参加	未定	JA1VRZ JH1GEN
8月	市防災訓練説明会	飯山満公民館	JH1MQC JA6AZE
8月26日	市防災訓練	市内	JH1MQC JA6AZE
8月26日	防災訓練反省会	飯山満公民館	JH1MQC JA6AZE
9月	技術講習会	飯山満公民館	JJ1GRK JK1TUJ JL1GYB
10月	移動運用	未定	JA1VRZ JH1GEN
12月	技術講習会	飯山満公民館	JJ1GRK JK1TUJ JL1GYB
1月	防災フェア	未定	JH1MQC JA6AZE
2月	役員会	飯山満公民館	役員全員

習志野台地区防災訓練とネットワーク構築テスト

1) 習志野台地区防災訓練のご案内

恒例の習志野台地区防災訓練が行われます。連絡会は公式行事として参加協力しますので、近隣の各局は奮っての参加をお願いします。

日時： 6月3日（日） 場所： 北習志野8号公園 内容： 非常通信連絡会のPRと公開運用

- * 非常通信連絡会のPRは阪神淡路大震災でのアマ無線の活動のビデオ上映
- * アマ無線公開運用は今年度から、ネットワーク構築テストの基地局を兼ねて行います。

2) ネットワーク構築テストについて

ネットワーク構築テストは新方式として、YNAとして各バンドで一般市内外局も対象に含めて、運用することに決まりました。

基地局（訓練会場）集合は現地 9:00

（アンテナ，リグなどの設営）

コンテストとしての時間は 10:00～11:00

運用周波数：50,144,430,1200MHz 帯(FM)

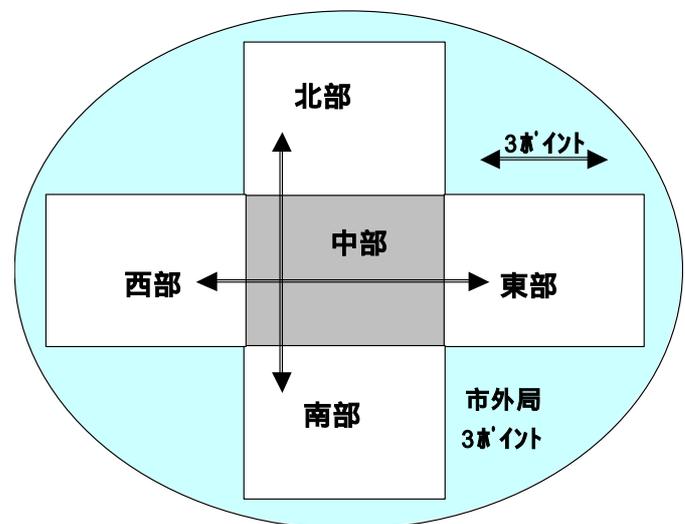
コンテストの対象の範囲：

（YNA会員局、一般市内外局）

- 1) 基地局（訓練会場）対YNA会員局、一般市内外局の交信
- 2) 基地局でないYNA会員局対会員同士、一般市内外局の交信

YNA会員局には全ての交信に対しログの提出でポイント付与、基地局と交信した一般市内外局にはYNAの交信証を発行します。なお、ポイントに関しては、従来通りのルールとします。

- * ポイント付与の例：基地局（東部）を基準としたケース
- * ハンディ機の場合は、図中の矢印区間は3点、市外局3点、北部、中部、南部は2点
- * 固定機の場合は、すべて1点



事務局からのお知らせ

局免許の更新情報についてはニュースでお知らせすることにしてあります。ここ半年以内に無線局免許の有効期限が切れる局は、次の通りですから忘れないで手続きをお願いします。

7N1TCU, 7K2CWU, JF6FET, JN1XAB, 7L2NWB

*局免許を更新された際は、新免許状の写しを事務局宛てに必ず送付下さい。

写しの到着をもって更新の確認としています。写しを未提出の局は、次の局ですから至急送付願います。

7L2USW, JK1CZD, 7M2EAI, JP1EOI

事務局 防災課 工藤、杉田

船舶無線のパイルアップ

今はもう、インマルサットを中心とする衛星通信に主力が移ってしまった船舶無線ですが、昔は電信で情報のやりとりをしていました。この話も前回と同じくそんな時代の話です。

船に電報を送る方法って知っていますか？ 住所を書いてもダメですよ。大東島南方海上 100km までバイクで電報を届けてくれる人は居ません。では、どうすれば良いかと言いますと実はこれらが意外と簡単で、船側が扱い海岸局を事前に届け出ることによって電報は海岸局に届き、あとは船の方からその海岸局にアクセスをする事になっていました。この扱い先は、日本の外航船の場合は 99%長崎(JOS)か、銚子(JCS)だったはず。というのは、船が世界中どこに居ても、このどちらかと直接電報のやりとりをすれば国内電信扱いとなったからです。(ただし公海上に限る)。

さて、これらの無線局では、送るべき電報があると定時の一括呼び出しで船に伝えてくるルールとなっていました。で、船側からコールして交信し、電報を受信するわけですが、当然、一括呼び出しの後には海岸局向けのパイルアップが発生します。

とはいっても、実は各船は違う周波数を送信していました。どの船もバンド毎に送信周波数をいくつかスポットで持って、海岸局の指定周波数に近い手持ちの周波数で送信するというのがルールだったのです。ハムの CW のパイルアップで UP 指定をして相手を分散させているのと結果的には同じ手法です。当時、送信は水晶、受信は VFO、送受信周波数が違うのは当たり前だからできた方法で、海岸局は 300Hz の狭いフィルタで 1 局ずつ整然と船舶局をピックアップしていました。

しかしこれが離調を許されない SSB だと「整然」といかないのもハムと同じです hi。2003 年まで運用されていた JBO、遠洋船舶電話がその典型で、これは普通の電話から直接接続してもらえ、ちょっと変わった SSB 通信でした。

普通の電話から遠洋船舶電話台を呼び出し、通話先の船舶名、おおよその通話時間を告げると、通話の準備が出来たときに電話で連絡してくれて、船と電話ができるシステムなのですが...

この時海岸局は、一日に数回、通話の申し込みがあった船舶のリストを読み上げると共に船からの通話申し込みを受け付けます。「こちらは JBO, JBO。30分より一括呼び出しを始めます」

この女性の自動アナウンスから、男性オペレーターのダミ声になったら呼び出し開始です。

「J x、J x、J x、J x....」と、読み上げ、次に

「続いて電話方式、第十三転覆丸、第十三転覆丸」となると、終わりが近づきます。

終われば各船からのコールを受けます。ここまではまあ CW と一緒ですが、SSB では周波数が合っていないと聞き取れませんから、JBO を呼び出す周波数はバンド毎に一つ、JOS, JCS とは明らかに違う猛烈なパイルアップが始まります。

JBO では、順番に相手をピックアップして、14 時 50 分から 10 分間ベータ、という感じで、通話時間とチャンネルを指定していきます。3 つのサブチャンネルを A, B, C と言うのですが、それをフォテネックで指定しているわけです。

当然、早くピックアップしてもらったほうが早い時間を指定してもらえますし、混んで一杯になるとそこで打ち切られます。船内からは響きが飛ぶわけですから、通信士もここは必死で自船のコールサインを連呼!!し

かし.....な、何故か1KWの大型貨物船からの信号は取ってもらえません。通信時刻指定を始めてからしばらくの間は電話方式の漁船(250W弱)ばかりがピックアップされていくのです。近海だから? いえいえ、受信点は内陸です。

今思うに、漁船は主要バンドの専用アンテナ(ヘリカル)を切り替えて使っているのに対して、外航船は船橋(せんきょう)の横と船首のアンテナ(+チューナー)という違いが大きかったのではないかと思います。何故横かと言いますと、船橋から上にアンテナを出すとレーダーを邪魔しちゃいますから。やはりアンテナは同調形が一番ですHi。

では、このパイルアップに勝つ方法は無かったのでしょうか? いえ、無いわけではありません。JBOは同時通話なので、海岸局は指示を出している間でも受信をしています。つまり、恥も外聞も気にしないロングコール、これがJBOのパイルに勝つ裏技でした。なにかと似ていますね。

ただし、他の船が送信しているときに被せると海岸局から怒られます。被せて良い(嘘!!)のはあくまでも海岸局が送信しているタイミングだけでした。

続く(かなあ) de JJ1GRK

インフォメーション

*入会、退会のお知らせ

JS1SWW中島邦彦さん(中部 高根台)が連絡会に入会されました。今後の活躍を期待します。
退会者 JE1VCP 金子さん JG1EDX 田中さん 長い間のご協力を感謝します。
これで、現在の会員数は82名となりました。

*お詫び

ニュース発行の都合から、第1回移動運用のご案内が間に合わず、申し訳ありませんでした。

編集後記:総会も無事に終わり、新年度のスタートです。総会後の恒例のジャンク市で当局は、SCSIタイプのCD-Rがあったので、ゲットして来ました。SCSIは古い規格のパソコンではありがたい代物です。CPUに負担を掛けずに、簡単に増設できるからです。少しずつ機器を揃えていたので、タイミング良くこの連休の改造にトライできました。

今回の改造は、増設HDDと今回のCD-RとUSB, SCSIインターフェイスの増設です。全ての機器を認識させて、増設HDDからOSのマルチブートを可能にすることが目標でしたが、簡単には行かず、何回もHDDの初期化 OSセットアップを試みたあげく、結局はWIN2000だけは素直に反応せず、今まで通りの本体からのブート処理になりました。

PCの改造 セットアップ 確認作業は、結果が出るのに時間を要します。
とにかく、疲れたの一言でした。とは言え、PC98がDOS/V機らしくなったので、まずまずの出来栄とします。

次は、難関なCPUの交換です。うまくいけば、次号でお話します。